

## 令和2年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会

- 1 日 時 令和2年7月11日(土) 午前10時から午後12時まで
- 2 会 場 調布市文化会館たづくり9階 研修室  
(東京都調布市小島町2丁目33番地1)
- 3 出席者 利用者 7人  
事務局 9人  
〈調布市〉  
佐々木文化生涯学習課長  
〈公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団〉  
吉田常務理事、阿部事務局長、木村企画課長、  
土井文化・コミュニティ事業課長、藤堂芸術振興事業課長、  
大割企画課長補佐、常廣文化・コミュニティ事業課長補佐、  
岡野芸術振興事業課副主幹
- 4 資 料 令和2年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会  
(令和2年7月11日) 要望事項等対応表【令和2年6月26日現在】

### 〈次第〉

- 1 開会
- 2 財団挨拶 吉田常務理事
- 3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介
- 4 連絡事項 発言者の注意事項
- 5 懇談
- 6 閉会

### ○木村企画課長

それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会を開会します。

進行については、お手元に配布した利用者懇談会の次第に沿って進行します。

初めに、本日の配布資料を確認します。

利用者懇談会次第です。令和2年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会の要望事項等対応表です。

続いて、次第の2、財団挨拶、常務理事の吉田よりご挨拶申しあげます。

### ○吉田常務理事

おはようございます。常務理事の吉田と申します。

本日は、お忙しい中、利用者懇談会にお越しいただき、ありがとうございます。マスクのまま失礼させていただきます。

今回、新型コロナウイルス感染症拡大に伴いまして、利用者懇談会も開催が危ぶまれる点がありましたが、感染対策をしっかりと行って開催しようということになりましたので、ご協力のほどよろしくをお願いします。

この間のことを少し紹介させていただきますと、新型コロナウイルス感染症が心配された3月に第2回シネマフェスティバルを、内容を一部変更しましたが、参加者、関係者の感染対策をしっかりと行い、何とかぎりぎりの状態で開催することができました。ただ、その後、皆さんもご存じのように、世界中に広がった新型コロナウイルスの影響によって、たづくりの施設の諸室の利用停止、公演の延期、中止など、ほとんどの業務が停止となってしまいました。楽しみにしていた公演や定期的な学習もできなくなり、誰もが感染症と向き合う厳しい日常を過ごすことになり、今に至っているかと思います。

そして、6月ですが、やっと少し落ち着きまして、日常生活が戻る中で、第8回目の調布国際音楽祭をオンラインで開催しました。会場での公演はできませんでしたが、幸い、クラウドファンディングという初めての手法を使い、皆さんにご支援いただき、目標額に達しまして、1万人以上の多くの方に聴いていただくことができました。こうしたときこそ音楽の力を伝えたいという新しい形の音楽祭でした。今後、公演アーカイブの幾つかは再編集を経て、またご覧いただけるように準備中ですので、ぜひまたお聴きいただきたいと思っております。

一方、せんがわ劇場ですが、6月下旬に4か月ぶりにサンデー・マティネ・コンサートを再開しました。120席のところ募集定員を25人にさせていただきます、こちらも会場にお越しいただけない方のために同時配信で、1週間ほどホームページ上に掲載して聴いていただけるようにしました。

安心して人と接触できるようになるまでには時間がかかるかと思いますが、こうした中でも芸術・文化事業をしっかり発信していきたいと考えております。今日は短い時間ですが、有意義な意見交換ができればと思いますのでよろしくお願いたします。

○木村企画課長

続いて、次第3、出席者紹介です。

最初に、調布市側の出席者からご紹介します。

生活文化スポーツ部文化生涯学習課・佐々木課長です。

○佐々木文化生涯学習課長

佐々木です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

次に、私ども文化・コミュニティ振興財団の出席者です。  
常務理事の吉田です。

○吉田常務理事

吉田です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

事務局長の阿部です。

○阿部事務局長

阿部です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

文化・コミュニティ事業課長・土井です。

○土井文化・コミュニティ事業課長

土井です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

芸術振興事業課長・藤堂です。

○藤堂芸術振興事業課長

藤堂です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

企画課長補佐・大割です。

○大割企画課長補佐

大割です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

文化・コミュニティ事業課長補佐・常廣です。

○常廣文化・コミュニティ事業課長補佐

常廣です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

芸術振興事業課副主幹・岡野です。

○岡野芸術振興事業課副主幹

岡野です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

最後に、本日進行を務めます企画課長の木村です。どうぞよろしくお願いします。

続いて、次第4、連絡事項です。この懇談会に際してのお願いなど、連絡事項が3点あります。

1点目、お手元に配布しております出席者票に記入をお願いします。お帰りの際には机の上に伏せてお帰りください。住所欄には番地、部屋番号までお書きください。また、氏名の記入をお願いします。

なお、机と机上の鉛筆は事前にスタッフが消毒しております。

2点目、この懇談会では情報公開用の会議録作成のため、録音をさせていただきます。これを要約した形でホームページに公表し、また、財団報「ぱれっと」には抜粋した形で掲載します。

なお、発言者の氏名は公表しません。

3点目、本日の利用者懇談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次第には10時から12時と記載していますが、全部で1時間程度の実施とさせていただきたいと考えております。また、開始30分後に5分ほどの休憩とドアの開放を行います。

なお、本日は参加者を15人までに制限していることをご承知おきください。

初めて参加される方もいらっしゃると思いますので、利用者懇談会について説明します。

日頃、たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場を利用されている方々と意見交換し、お寄せいただくご意見等により、より良い運営を目指すことを趣旨としています。スムーズな進行を心がけますので、ご協力のほど、よろしく申し上げます。

それでは、昨年11月に行った利用者懇談会でのご意見等に関するその後の対応については、お手元の配布資料、要望事項等対応表の右側の欄に、太字下線で「令和2年6月26日現在」と記した対応状況の部分になりますので、ご確認ください。

それでは、ここからはお1人ずつご意見をいただきたいと思います。出席者全員からお話を伺いたいので、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。全員の方が話す時間を取るため、時間を配分することがありますことをあらかじめご了承ください。発言の前にはお名前をお願いします。

それでは、時計回りの順番でお願いいたしますので、私から見て、左側のHの席の方からお願いいたします。

○H

Hと申します。先ほど吉田常務理事からも報告がありましたが、先日の国際音楽祭、ネット配信したということで、すごく楽しめたという話を聞いております。ああいうことができるのはすばらしいと感じました。

それから、私たち公民館たづくり利用者会議は、6月にたづくりまつりを実施しました。文化会館たづくりが利用再開されて初めての企画で、やはり対応では会館の皆さんとも相談させていただき、色々な対策を考えました。受付の遮蔽板だとか、発表する場合の司会と客席の間にビニールの

遮蔽幕を設置するなど、手作りになりましたが、そういう工夫をしました。ただ、人数が急激に少なくなったことで宣伝の仕方が非常に大変だったという思いもあります。縮小した内容が市報とかに載ったのと若干変わってきたのを訂正するのが非常に困難だったということで、これは反省しなければならなかったところです。

ただ、会場が使えるようになったということで、使えるようになったらやろうとずっと実行委員会で企画を続けて、何とか当日を迎えることができました。当初の予定より少人数ではあったけれども実施できたことは、一緒に取り組んできたメンバーには充実感もあったし、見に来ていただいた方にも喜んでもらえたと感じました。あとは、映像シアターの椅子の着席禁止の措置の仕方や、利用者が使う受付の遮蔽板を会館の皆さんに作っていただき、非常に助かりました。自分たちだけでは作ったりするのが難しいため、ぜひ今後もやっていただきたいです。

それから、まだ実行委員会に提案しているところですが、私たちはグリーンホールで発表をしたいと思っており、その際、ビニールの遮蔽幕の大きなもの、しっかりしたものを指揮者と演奏者の間に立てたいと考えています。ぜひ会館のほうでそろえていただければと思いますので、対応をお願いしたいです。

それから、会場の利用人数が定員の50%以下の使用になったということで、例えば、後援だとかをいただいている料金がかからないときは大して問題ないのですが、自分たちで会議室やホールを借りる場合、今までやれていた面積ではできなくなり、大きなところを取らなければいけなくなりました。サークルの運営はやれるようになりましたが、財政的にすごく負担があります。

例えば10人程度の会議を開催する際、一番小さな部屋で今までやれていたまで市派遣職員体制が、今後は定員が8人までですと言われると、もっと大きな部屋を取らなければいけなくなります。そうすると、それが取りにくくなるだけではなくて、料金も2倍、3倍の金額がかかってくるため、活動の制約となります。これは財団では無理なのかもしれませんが、例えば使用料の減免措置など対策を検討していただきたいです。このことは今、各団体が演奏会もさることながら、日常の練習、会議でも困っていることです。

例えばくすのきホールやグリーンホールで、何か発表会をやろうとすると、目標の半分しか客を入れられないため、経済的に非常に困っています。会議室系でも日常の運営委員会などで使用するにしても、やりくりが非常に大変になっていますので、ぜひ検討していただきたいです。

○木村企画課長

ありがとうございます。こちらのほうでそろえる感染防止の用具のことと会議室利用料の2点でよろしいでしょうか。

○H

はい。

○大割企画課長補佐

舞台上での遮蔽幕については、後でご相談させてください。それから、利用料金については、市とよく相談したいと思います。

○H

はい。

○I

Iと申します。私も公民館たづくり利用者会議のメンバーの一人です。6月に施設の利用人数は半分に制限されましたし、ギャラリーも使えない中で、むらさきホール、和室、映像シアターが使えたのは、三多摩地区でもいち早く国立と調布が開けたと言われまして、さすが調布だねと言われて、非常に鼻が高かったような気がします。

むらさきホールの使い方は、普段ギャラリーでやっているところの壁面を利用して、そこに展示をしたりなど、色々な工夫をしました。映像もむらさきホールで上映させていただき、色々な条件の中でどういうことがやれるのかとみんなで話をする中で工夫することができたのではないかと考えています。ありがとうございました。

もう一つ、染地に住んでいまして、今年の台風19号のときに大変な思いをしたので、今年も、台風だ、大雨だというので、これからまた大きいのが来るのではないかという不安があります。グリーンホール、たづくりが避難場所となっているのですが、もっと大勢の方が避難された場合の場所の確保が、グリーンホール、たづくりだけで足りるのか。例えば教育会館や福祉センターなど、もっと色々な会場を避難場所として開放していく手立てはないのかどうか。もうそろそろ大雨が来る時期ですので、対策を取ったほうが良いのかなと思います。よろしくお願いします。

○木村企画課長

ありがとうございます。

○佐々木文化生涯学習課長

避難所の関係ですが、昨年、台風19号の際にグリーンホールとたづくりを避難所として開設しました。それ以外、基本的には布田崖線より下の小・中学校の避難所については、風水害の際には避難所となりませんが、崖より上の小・中学校については、風水害の際も避難所となりますので、お近くの小・中学校の避難所に避難していただくのがまず一つ。その上で、たづくりやグリーンホールも避難所として開設しておりますので、そこも利用していただく。

それから、おっしゃったように教育会館は、実際に災害が起こったとき避難所運営の関係で教育部職員の拠点となるので、避難所として使用するの難しいと思うのですが、その他の公共施設に

についても検討はしているという風に聞いております。

○I

車がある方は良いのですが、車がない方がそんなに遠くまで行けるのかどうなのかということ。それから、高齢者とか障害をお持ちの方がより近いところで開けられる避難場所がないのかどうか心配なのです。

○佐々木文化生涯学習課長

公共施設だけではなかなか難しい部分があるので、そこは総合防災課でも色々な民間施設にもお願いしている状況だと思いますが、そういったご意見をいただいたことは私から防災部門に伝えさせていただきますので、よろしくをお願いします。

○D

今の関連なのですが、自宅が多摩川の、染地とも近い境界線みたいなところにあり、一番危ないと言われていまして、避難しました。私たちは早々と友人の高台のマンションに避難したのですが、自治会の役員さんが一人暮らしの方たちを心配して、うちは息子が車高の高い車を持っているのを自治会長さんが知っていて、何人かを連れていってこないかと直接頼まれたのです。息子は、車高が高いから水が多少出ても大丈夫だということで、びしょびしょにぬれながら、一人ずつお年寄りを何人か乗せて、避難場所の富士見台小学校に行ったところ、ここはもう駄目だと言われてしまいました。自治会長さんからまた連絡が来て、グリーンホールが開いたらしいから連れていってくれということで来てみると、今度は車を止めることができなくて困りました。そうしたら、駅前のバス停のところが空いていたので、そこに車を止めてお年寄りを降ろし、そしてまた乗り切れなかった人のためにもう一回ピストン輸送したらしいのです。

もちろん一番最寄りの学校が避難場所になるのですが、今回は全ての避難場所が大変な状況だったのです。私はその話を後から聞いて、だからグリーンホールが開いたのかなと思インターネットしました。ただ、グリーンホールには駐車場がない。今、歩いて避難をという話もありましたが、雨が降り出した中でお年寄りは歩いて避難ができないので、そうやって助け合いで連れてきたのですが、うちの息子は駐車ができず困ったと言っていました。

それから、これは今回初めてだったからなのですが、学校によっては芝生。どこでしたっけ、近くの学校で芝生が……

○I

第二小学校。

○D

芝生が駄目になるからといって車を入れられなかったという話も聞いたのです。グリーンホール

を避難所にするのであれば駐車場をどこにするのかということをごきちんと想定する必要があります。現在も九州で豪雨災害が起きているわけで、喫緊の問題として整備したほうが良いと思います。

○佐々木文化生涯学習課長

ありがとうございます。そういうご意見、確かに駐車場の問題は市としても認識しているところなのですが、特に調布駅周辺というところと空いているスペースも限られている中でどうしたら良いかというところは一つ課題なのかなという認識はしております。

今、Dさんにおっしゃっていただいたように、お知り合いのところに避難されたという話で、そこがまず第一なのかなと思っております。やはり避難所は数が限られているので、まずはご自宅の中で高いところに避難できるのであればそれが第一ですし、それが難しければ、次は親戚の方やお知り合いの方で高台に住んでいるところに逃げていただくのが2番目。それも難しいという方々が避難所に来ることになるということで、そういったところを今、市のほうでも改めて避難する際の順番、特に大雨のときはなるべく早めにということがありますので、雨がそんなに強くないときでも場合によっては避難していただくことが重要なのかなと思っております。今いただきましたご意見は、先ほどのご意見と一緒に市のほうに伝えていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○木村企画課長

続いて、Jの席にお座りの方、お願ひします。

○J

いつもたづくりを利用させていただいて、また色々とお親切に対応していただき、ありがとうございます。おかげさまで気持ちよく使わせていただいております。

先ほどHさんから出ましたように、施設利用時の定員について50%の利用制限があるということで、いつもでしたら16人の部屋で間に合うところが、次に大きな部屋となると50人部屋になります。たづくりの場合、30数人という部屋がないので、8人で収めるか、次に26人という部屋がありますが、その次が50人になります。中間の部屋がないので、どうしても割高になってしまい、料金が安い部屋を予約しなくてはならない。これは自主的に参加している市民グループの場合とてもきついことなので、その辺を考えていただきたいと私も思います。

それで、先ほどの考えておきますという回答は、いつ頃お返事をいただけるのでしょうか。いつも私たちはここで要望を言わせていただき、今日11月分の対応結果をいただきましたが、出るのが半年後。なので、できるだけ早い対応をお願ひしたいです。

それから、1年半ぐらい前、夜に開催した利用者懇談会で、少し違うメンバーがいらしていました。日中は現役の人かもしれませんが、その人たちがたまにお昼の部を使うときに、1時から4時



半までという利用の時間帯はほかで見ないと。5時までにならないのですかという要望があったのです。しかし、それは条例で決まっているからできませんという回答でした。では、条例で決まっているのでしたら、どういった方法で市民の声を届けたら良いのでしょうか。陳情を出して条例を変えてくださいという形でしかできないのですか。

それから、午前中が3時間、午後が3時間半、夜が4時間ですよね。利用できる時間のバランスも一考。午前中の方は少し損みたいなきもちもあるのですが、陳情の前にそういったことを考える場はあるのでしょうか。それが一つです。

もう一つ、グリーンホールの建て替え問題について、どんな進行状態なのか分からないというのが現状です。前回の対応、今日いただいた資料の中にも説明会を行いますと記載があるのですが、これは行われていないと思います。

それと、調布市の担当がグリーンホールの整備方針をまとめていく上では文化生涯学習課が担当しますと仰っていました。それから、総合福祉センターについては福祉総務課が中心になって検討し、行政経営部公共施設マネジメント担当になりますということでした。グリーンホールの整備については、ここに出席されている文化生涯学習課の方が担当していると私は認識していなかったのです。全部行政経営部が担当しているのかと思っていたので。というのは、ここで何回質問しても、やはり行政経営部に聞いてきますみたいな答えだったからです。ここで文化生涯学習課として答えることができないのかなと思っていましたので、認識を新たにしました。これは一回前の報告です。

それで、私は利用者会議に入っていないのですが、こちらの市民団体の窓口と連絡を取って、現状の計画の進捗状況、なぜ建て替えが必要なのかから始まって、今、例えばどういうコンサルを募集したとか、だんだん聞こえてくる部分もあります。そういったことの説明会をしていただきたいので、①「窓口がどこなのか」②「市民のほうから名乗り出たりするのか」③「市役所が指定するのか」など教えてください。利用者団体の仕組みがよく分からないのですが、グリーンホールが建て替えで何年か休館することになったら、かなり大きなことなので、ぜひそれを市民に説明することを希望します。

○木村企画課長

ご質問としては大きく3点。50%利用制限に伴う減免の回答時期のこと、あとはたづくりにおける時間帯の考え方、バランスについてご一考いただけないかということと、グリーンホール建て替えの窓口の3点でよろしかったでしょうか。

○J

はい。

○佐々木文化生涯学習課長

利用料金の問題ですが、確かに今、利用制限をかけている中でご不便をおかけしている部分があると思います。我々が所管している文化施設だけではなくて、市の公共施設全て、貸し館をしているところはそういう状況だと思います。そういったところとも足並みをそろえて調整させていただく必要があるので、今すぐにここでいつまでにとお答えすることはできませんが、そういったご意見をいただいたことは関係部署とも共有して、どういったことができるのかを検討させていただければと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それから、利用時間のお話です。そういった陳情を出すのも一つの手段ですが、まずは利用者懇談会という場所がありますので、こういったところでどんどんそういった声を上げていただく。今そういった声をほかで伺っているわけではないので、我々としてもすぐに変更とまではしていないのが現状です。直接そういった声を市にお届けいただいても構いませんし、市長のはがきですとかメール等でも構いませんので、いきなり陳情という形ではなく、まずはこういった場所や市や財団への意見提出方法は様々あると思いますので、そういったところで上げていただくのが良いのかなと思っております。

3点目のグリーンホール建て替え問題については、確かに昨年来から広く市民の方に向けた説明会を実施しますと言っている中で、なかなかできていないところについては大変申し訳ありません。我々として利用団体の方と意見交換させていただいている中で、今一番話に出てくるのが、現行の敷地で建て替えるとなると、大ホールについては1,300という客席がありますが、一方で楽屋が足りないとかトイレを含めたバリアフリー関係の課題も抱えている中で、同じ敷地内で建て替えるとなると1,300席を維持していくのが難しいというのが我々の検討状況の中で一つあるのですが、数字だけ言われても分からないとも言われておりますので、こういう機能改善を図りながらやっていくと、これぐらいの規模数の席になるというところを今、実際にコンサルをお願いして絵を描いていただいている状況でして、それを元にもう一度、利用者の方々とお話しさせていただきながら、それ以外のグリーンホールの機能面とか大きな整備の考え方をまとめていきたいと考えております。

その過程においては、有識者の方にも入っていただいて検討会を立ち上げていこうと考えております。そういったところを今年度進めさせていただいて、ある程度、皆様にお示しできる形のところで広く説明会ですとか、市民の皆様から意見を募るような市民参加手法を用いながら考え方を整理していきたいと考えているところです。

先ほど担当のお話がありましたが、ホール機能の部分について考えていくのは我々、文化生涯学習課になります。それから、総合福祉センターについては福祉総務課になります。行政経営部の公共施設マネジメント担当という市内全ての公共施設の大きなところ、基本的な考え方を所管してい

る部署がありますので、そことも連携しながらやっていくところです。

なぜあそこで建て替えが必要なのかといったところから調布駅周辺の大型公共施設の今後の課題といった大きなところの話をお知りになりたいということですので、そういったことになる、公共施設マネジメント担当も一緒になってお話しさせていただいたほうが良いだろうということを前々からお伝えしているところです。ホール機能の部分であれば我々、文化生涯学習課で対応させていただきますが、Jさんが望んでいらっしゃるの、もう少し大きな話なのかなということで、お声がけしていただければ、公共施設マネジメント担当と一緒に意見交換の場を持つことはできると思っておりますので、よろしくお願いします。

○J

今までで一番詳しい説明が聞けました。私たち樹木あふれる調布駅前広場をつくる会も、駅前広場とグリーンホールは一体で考えていかなければならないと思っています。二つとも調布市の顔です。なので、私たちも一緒になって市民に供するような案をつくっていきたいと考えていますので、また樹木の会ともよろしくお願いします。ありがとうございます。

○佐々木文化生涯学習課長

都市整備部とも、ホールの建て替えに当たっては駅前広場と一体となった活用もできるような施設にしていきたいと思いますという話はしておりますので、またそういったところも含めて意見交換させていただければと思います。よろしくお願いします。

○木村企画課長

よろしいでしょうか。ありがとうございました。

ここで換気のため5分ほど休憩の時間をいただきます。10時42分ぐらいに再開しますので、よろしくお願いします。

(暫時休憩)

○木村企画課長

それでは、懇談会を再開します。

続いて、Kの席にお座りの方、お願いします。

○K

今日お聞きしたいことは別のことだったのですが、今グリーンホールのお話を聞いていて、Jさんはすごく詳しいご説明と言われたのですが、私は普段注目していないせいか、何のことだか分かりませんでした。グリーンホールの建て替えはもう決まったのですか。

○佐々木文化生涯学習課長

グリーンホールは今、建て替えを軸に今後の更新の検討を進めているところです。

○K

建て替えすることは決まったのですか。

○佐々木文化生涯学習課長

はい。市の方針としては、令和10年度をめどに更新をしていく予定です。

○K

今の場所にですか。

○佐々木文化生涯学習課長

はい。現在の場所での建て替えを基本として検討しております。

○K

今の場所に建て替えと、そこまではっきりしているわけですか。

○佐々木文化生涯学習課長

はい。一応グリーンホールについては、そのような形で検討を進めています。

○K

分かりました。つまり、お話を聞いていると、市民参加で検討の段階とか、まだ固まっていないような感じの回答が来るのですが、一方では、もう業者も決まっている。いつも私たちが懸念しているのは、方針などが決まった段階で市民参加と言われても、それを覆すことがすごく大変で、樹木の会は本当にすごく苦勞して、ごく一部変えていただくようなことになったのです。市民参加と言われるのであれば、ぜひまだ計画が固まらない早い段階できちんと説明会と参加のシステムをつくっていただきたいと思います。

それで、私が今日聞いたかったのは、実は憲法ひろばもたづくりまつりに参加させていただきました。本当に開催が危ぶまれるような状況の中、市民の強い希望に運営委員会が一生懸命努力したことと、市側にも協力していただいて、制限された形でも何とかできたことは他市からも評価されました。お礼申し上げます。

その際、南ギャラリーの定員が20名だったのですが、その基準を教えてください。というのは、8月に憲法ひろばは美術展を計画しています。そのときの条件がどうなるかということも知りたいので、展示場の定員はどうやって決まるのか。また、8月はどのようになるのか知りたいです。

もう一つは、憲法ひろばはできた頃からずっと調布市民プラザあくろすを使っていたのですが、あくろすがだんだんいっぱいになってきて、少し遠のいていました。今回申し込もうと思ったら抽選制度がなくなったというのです。ここはあくろすは入っていないのですか。そういう重要な変更

は、せめて登録団体には通知してもらいたいと思います。こちらはそういうシステムは変わっていないですか。もしそういう重要な変更があった場合は、登録団体にはぜひ通知していただきたいと思います。

○大割企画課長補佐

展示室の定員は、見にいっしゃるお客様と中でスタッフとして動いている方も含めて、その瞬間の目安のことです。

○K

瞬間の滞留している人数のことですか。

○大割企画課長補佐

その空間にいる人数が20名程度でお願いしますという意味です。ですから、そのくらいに達しそうになったら入場制限していただければよろしいのかなと思います。

○K

それは8月も変わらないですか。

○大割企画課長補佐

同じです。

○K

分かりました。

○木村企画課長

以前は20人程度と申ししていたのですが、現在、財団のホームページでは適切な距離を空けることという表現にしています。ですので、ニュアンスとしてはギャラリーの中で20人程度とお心止めいただければと思うのですが、21人になったから駄目というよりは、現在、国からも要請されているような適切なソーシャルディスタンスを確保することに配慮いただきたいということです。

○K

分かりました。ありがとうございます。

○佐々木文化生涯学習課長

あくろすの件は、私も今初めてお聞きしたのですが、同じ生活文化スポーツ部内の所管施設なので、そういったご意見をいただいたことは伝えさせていただきます。あくろすについては、指定管理者がこちらとは違いますので、そこも含めて伝えさせていただきます。

○K

よろしく申し上げます。

○木村企画課長

続いて、Mの席におかけの方、お願いします。

○M

私は、この懇談会は2017年11月に開催された会に出て以来なので、そのときに自分が書いていたメモを見ながら、今回こちらの要望事項等対応表を拝見すると、状況としてはそのときとあまり変わっていないという印象を持ちました。

特に2ページの3番に書いてあるグリーンホールの建て替えの問題。外階段が維持できなくて、外階段を撤去しても機能が維持できないところがあり、建て替えを視野に検討を進めているという内容が書いてあります。ただ、2017年11月以降、この調布で何があったか。2018年11月には調布市が計画していた旧タコ公園の場所の地下駐輪場の計画が中止になっています。昨年秋から冬にかけてですが、市民参加で駅前広場の検討会が行われ、駅前の巨大なロータリーが焦点になりましたが、東急ストアから駅のほうへ向かう動線部分の問題とか、公園が欲しいなどという要望があり、動線部分の改善は最終的にどんな形になるかは分かりませんが、どうも変わるのではないかと期待が持てているところではあるかと。要望等からするとそのままではいけないのではないかと話が出て、形も少し変わるのではないかと期待が持てているところではあるかと。

そうすると、書いてあるとおり、外階段がなくなるとか、その辺の状況も変わってくるのではないかと。ここに書いてある内容を知らない人が見れば、維持していくのが難しい、そういうことなのかと思いますが、今までの2年半の状況を考えると、どうも少し変わってきていると考えて、このままではいけないのではないかとこのところではあるかと。

今年2月1日号の「東洋経済」に、首都圏145団体のインフラ更新費の自治体ランキングで調布市は8位と出ています。私が思うに、高度成長のときに小・中学校もたくさん建てているし、調布にある公共施設が一気に老朽化してくる中でそういうランキングになっているのかなど。その中で、駅前に建っているグリーンホールだけいきなり建て替えが先行して話が進んでいるのが奇妙な感じがします。

今皆さんが使っている1,300席という大きなホールもありますし、色々な団体さんが使っているという状況もあります。私は建て替えを前提としないで、改修で済むかどうかも含めた検討をして、大事に使ったほうが良いのではないかとこのところではあるかと。

前も申しあげたかもしれませんが、具体的には、清瀬市にある清瀬けやきホールというところでは、青木茂建築工房さんというところでリファイニング建築というのがあるのですが、既存不適格になる建物を、現代の機能面での改修を行って、建築確認ももう一回取ってしまうことで、建て替えをすることなく建築物としてよみがえらせていくという手法です。清瀬については500人規模のホールなのですが、築34年のホールを建て替えせずに使い続けることが同じ多摩地区でできて

いるという事例も知っています。

財政的な部分もありますし、みんなが愛着のあるグリーンホールについては大事に使ったほうが良いのではないかと考えています。これが一つ目です。

もう一つは、たづくりのLED化の話を知りました。そのときは、第3次調布市地球温暖化対策実行計画の事務事業編、こちらは2020年度までということで、今もそうだと思います。その中で、平成26年度では、調布市温室効果ガスの排出量の多い施設として、たづくりが1位で18%、LEDの照明導入計画の施行年度が平成31年度までとなっています。LED化をやると電気代が大体半分になるなど効果があるので、早くやったほうが良いのではないかと申しあげたと思います。

その後、平成28年12月22日号の「ちょうふISO譜」86号に文化振興課所管の優秀な取組が紹介されています。この中で誘導灯のLED化、それからアトリウムに設置された植栽を人工樹木に変更で植栽の育成条件を満たす目的で運転していた空調の運転停止、それから氷蓄熱1次ポンプのインバーター化で必要最小限の回転数に抑えるということはやっているのですが、今日も来て、ここの部屋の照明は蛍光灯のままです。あと、エレベーターホールなども見ましたが、まだダウンライトの特殊な口金の蛍光灯が使われています。

商業施設などは、儲けを出さなければいけないところも大体変わってしまったのではないかと思います。それは、インシャルコストをかけても電気代が削減できる。あと管球の交換頻度が抑えられる。よく言われているところでそういうメリットを享受しようということがあると思います。どうも平成31年度までの施行と書いてあるところが行われていないように見えるので、それがどうなっているのかということなのです。

私が住んでいるマンションですと、もちろん器具を変えてしまえば一番良いのですが、やはりお金がかかってしまうので、業者さんを使わないでも管球の交換だけで済むLEDが流通しています。あと、ダウンライトは特殊な口金の蛍光灯ですが、現在は口金の変換アダプターが流通しています。そちらを使うと電気屋さんで売っているようなE26という一般的なLED電球を使用することができることが分かりまして、それでLED化もほぼ済んでしまっております。やればできるのに何でやらないのかということもありまして、その辺の状況をお伺いしたいと思います。

以上2点です。

○木村企画課長

ありがとうございます。グリーンホールの建て替え状況のこととたづくりのLED化の2点ということで、最初に建て替えについて。

○佐々木文化生涯学習課長

建て替えですが、要望事項等対応表2ページの3番目のところに、外階段が駅前広場整備に係る

ところで存置することができないといったことが、今、駅前広場が道路区域に入っているところで、道路区域の中に今のグリーンホールの階段を残してはいけないというところがあり、ではその階段をなくしたときに、今のグリーンホールの機能が維持できるかというところを我々、市のほうでも検討したところ、やはり1,300席のホールを外階段がない中で機能維持していくのは難しいといった結論になったところが一つあります。

おっしゃるとおり、この財政状況の中で、グリーンホールの建て替えに巨額の費用をつぎ込むのが良いのかというところですが、我々としては民間活力を活用しながら、市の負担をなるべく抑える形での建て替えを進めていく。そういった意味も含めて今、その辺りの手法は公共施設マネジメント担当が中心になって検討しているところで、公共施設マネジメント担当と、ホール機能の部分については我々、文化生涯学習課と連携して進めている状況でございます。

#### ○大割企画課長補佐

照明器具全体について、たづくりが建てられてから25年経っておりますので、同じように照明器具全体が老朽化しています。おっしゃったように、球だけ変えるとか、そういうやり方があることは承知していますが、器具全体が老朽化していますので、具体的には来年度以降になると思いますが、可能な限り早く全面LED化していくということで市のほうにもお願いしています。現状はそういうことです。

#### ○M

質問の二つのご回答をいただいたのですが、先ほど申しあげたように、外階段が道路に面しているからとか、その辺も知っています。だけれども、駅前広場の形も変わるのではないかと、2017年にはそういうことが言われていましたが、そこから地下駐輪場の計画が中止になり、広場のロータリーの形が変わるとか、その辺の状況がどうも変わっていくのではないかと。その状況を踏まえてもう一度考えないといけないとなると、この回答は2年半前の内容であって、これは今のご回答ではないと私は思います。

それから、LED化のご回答もいただいたのですが、私が見た資料には平成31年度までにと載っていたのですが、何で来年度になっているのでしょうか。早くやったほうが良いということをお願いしたのです。

#### ○佐々木文化生涯学習課長

文化会館たづくりの大規模な改修等については、基本的に市のほうで予算化して実施していく形になります。そういった中で確かに財団から、LED化も含めた改修を早めにしたという要望をいただいているところですが、それを我々としても毎年度の予算編成であつたり大きな基本計画をつくるときに上げさせていただいているのですが、市の公共施設全体のバランスの中で、年間に公共



施設の維持保全にかけられる経費が限られている中で優先順位がつけられていまして、今のところ来年度以降の予定になっている状況です。財団からは、早めにやりたいという要望は市のほうにいただいております。

○M

一般の家庭と違って、ずっと照明をつけているところも結構あると思います。蛍光灯とかですと、やるのが遅くなれば、結局、管球の交換が発生して、ずっと予備を持っていなければいけなくなってしまう。なので、やるならば一気にやって、管球の電気に係る電気代を半分に回せるということだったらそれにしてしまうとか、早くやればそれだけ電気代の削減を享受できるわけです。なおかつ、さっき申しあげたようなイニシャルコストをできるだけ抑えるような工夫もできます。31年度までという計画も持たれていたところもありますし、やはり遅いと言わざるを得ないと思います。要望としては、早くやったほうが良いと思います。

○木村企画課長

よろしいでしょうか。続いて、Dの席にお座りの方、お願いします。

○D

さっき発言したかったのですが、施設の利用時間のことです。利用者懇談会が何年ぐらい前からやられているか、私は全部は出ていないのですが、かなり昔から利用者懇談会は出られるときは出席するようにしています。

その中で、この利用時間の問題は出ていました。午後に利用したとき、特に映像シアターは、4時半に終了するのは中途半端できついです。4時半に出なくてはいけないから、その少し前に終わらせて片づけに入らないといけません。利用時間が5時までにならないかということが懇談会にて要望が出ていたときに、そちら側のお答えは、条例で決まっているから、最終的に議会で変えないと駄目なのだというお話でした。では陳情とか、市民が議会にお願いするにはそういう方法があるのかなど。はっきりした記憶はないのですが、そういうお話でした。

だから、今説明された方が、いきなり陳情という形ではなく懇談会などの場所で声を上げてと仰いますが、これまでの経緯を申しあげたいし、利用時間が何とかならないかというのは以前から出ている問題なので、それをどのようにしたら変えられるのか、逆に教えていただきたいです。利用している人が一番不便を感じているので、よろしくお願いします。

もう一つ、既に出ていますが、制限つきにせよ施設を6月1日から開けたことは英断というか、公民館も6月1日から開きました。実は私、西部公民館で6月に3回連続講座を企画していまして、6月1日からできるということなので、電話で申し込みました。いつもなら30人の教室が15人の定員だったので、電話したらぎりぎり申し込みました。そうしたら、実は申し込みが多くて大勢

の人が駄目だったと。後で知ったのですが、公民館側が、西部公民館はロビーが広いので、ロビーにある衝立とかテーブルをどかして空間を広げたそうです。それによりプラス10人、合計25人が参加できることになったようです。それで、お断りした人にまたお電話をしたりと対応されたようで、私はすごく感動しました。こんなに申し込みがあったのに、お断りしたのが心苦しいということで、そういう柔軟な対応を西部公民館がされたこと。きっと職員の方たちが相談されたのだと思うのですが、すばらしいと思いました。

それで、今度は1日からここもかなり制限つきではありますが、施設が再開されました。私たちもドキュメンタリーの会でたづくりまつりに参加し、6月27日に反省会をしました。そのとき、元職員の方がサークル代表で出ていらして、ここが開いたのはすばらしいことで、制限つきにせよ公共施設を開けたのは三多摩で国立市と調布市だけだと聞いて私も初めて知ったのですが、その場にいた人みんなすごくびっくりしました。

たまたま三鷹と稲城から通ってきている人がサークルにいて、良いよね調布はと。三鷹は全部開かないから、サークル活動が全部ストップして本当に困っていると。さっきもそういうお話が出ましたが、ここが6月1日から開館すると決められたこと、制限つきにせよすばらしいことだと思います。この場で改めてお礼申しあげるのはおかしいかもしれないけれども、本当に拍手したい感じでした。

それから、グリーンホールのお話を伺っていると、利用者の方と意見交換もしている、コンサルさんに絵を描いてもらっているとのこと。「そんな話になっているの？」と驚きました。Jさんは具体的にお話が聞けたと言っているのですが、具体的に聞けば聞くほど不安になってくるのです。どこまで市民の声を聞いてもらえるのか。決まってからでは遅いのです。

二十何年前、ここができる時も、私たちは中央公民館でさんざん意見を言いました。ところが、開けてみたら、実は市民の意見が通っていないということを感じたのです。7階に保育室があったり、色々な問題が後から出てきたって、出来てしまったらしようがないのです。なので、その轍を踏んでほしくないのです。

特にグリーンホールは駅前広場と一緒に駅前の顔ですよ。10年などあつという間ですよ。だって、駅前の整備計画ができて、交番のほうの木が切られて、私たちの運動は5年目に入っているのです。5年があつという間なのです。だから、10年など先の話ではなくて、本当に今から市民の、市民といっても利用者の声を聞いてほしい。グリーンホールやここを利用している人たちの声に耳を傾けてほしい。もちろん全部聞いてほしいということではないのですが。

グリーンホールの建て替え計画だけでなく、東急一帯の計画もです。これは聞いた話なのでどこまで本当か分からないけれども、あそこが先にかなり高層の建て替え計画が出るので、そこに一旦

グリーンホール機能を移すみたいな話を聞きました。ところが、小さめの建物を2棟建てるという話になってきたので、グリーンホールを建て替える間、大きなホールがないけれども市民に我慢してもらおうという話も聞きました。どこまで正確か分からないけれども、私たちは駅前を色々利用しているものですから、そんな話が伝わってくるのです。そういう話が次々として出てきて不安でしょうがないのです。建て替えなくて良いではないかという声も出てくるし、いや、どうせだったら民間活力でという話もあります。今、民間活力はどここの都市でもやっていますよね。そういうものを利用して、莫大なお金をかけなくてもできるのかどうなのか。

いずれにせよ、そういうことを税金でやるわけですから、今どこまで計画が進んでいるのか、私たちはそのことを知らせてほしいのです。十分に市民の声を聞く場を作ってもらわなかったら、私たちが利用者の声を届ける場はここしかなくなります。そうではなくて、やはりちゃんと1年に何回か場を設ける。さっき言った行政経営部、都市整備部、それから公園とか、そういうところの代表が出てきて、今このように計画しています、こうなっていくという説明をする場。ぜひそういう場を具体的に作ってください。10年などあつという間です。

○木村企画課長

ありがとうございます。使用時間のことについてとグリーンホールの状況についてということで。

○佐々木文化生涯学習課長

まず、利用時間の件について、私も今の部署に来て2年目で、勉強不足ですみません。昔からそのような話があったところを認識していなくて大変申し訳なかったのですが、そういうことであれば、一度、利用者の方々にアンケート調査してみるとか、我々としても検討していきたいと思いましたので、よろしくお願いします。

それから、グリーンホールの件については、一度別の場所に移ってという話は、私も今初めて聞いたのですが、確かに今の予定ですと、建て替えに関しては、グリーンホールを壊すのに1年、建て替えに2年と3年程度なくなってしまう時期が出てきますので、そういったところも含めて丁寧にご説明していきたいと思っております。

それから、絵を描いてといったのは、決まった絵をお見せするというのではなくて、ホールのなところの検討をしていただくのに<sup>じづら</sup>字面だけだと皆様との意見交換もしづらいところがありまして、一旦、我々のほうで必要最低限の機能を入れた形でお示しして、意見交換をしたいと思っているので、その絵が決まったものということではなくて、意見交換の材料として、そういった絵を描かせていただくということで考えておりますので、ご理解いただければと思います。

それから、都市整備部も含めた意見交換なり説明の場といったところも持ち帰らせていただいて、都市整備部、あるいは公共施設マネジメント担当にお伝えさせていただきます。

○J

市民のほうでどこに声をかけて良いのか分からないような面もあるのではないかと思います。

○佐々木文化生涯学習課長

文化生涯学習課に言っていただければ、私から行政経営部なり都市整備部にお声がけして、調整させていただきます。

○J

逆に、行政のほうからすれば、どの市民団体に声をかけて良いか分からないのではないかと思います。だから、市民のほうでそういうグリーンホールのことを考える会とか母体を別に作ったほうが良いのかなど。そういう窓口があれば、そちらとしても声をかけやすいですし、こちらは閉じたものではなくて、もっと広げていけば良いので。きっかけはたづくり利用者会議でも良いと思うのですけれども。

だから、やはり樹木の会だけではとてもできないですし、たづくり利用者会議だけでもできないかもしれないのです。色々なグループ、利用団体が少しずつ集まった、その問題について考えていく会みたいなものを作って、そちらからも連絡が来やすいように、何か進展があれば意見交換の場として開く。これは私たちのほうで話し合っただけで決めるの良いと思うのですが。

○佐々木文化生涯学習課長

先ほど、有識者を含めた検討会を立ち上げていきたいというお話をさせていただきましたが、その中に利用者の方々も入っていただくことも含めて検討させていただければと思います。

○木村企画課長

では、Fの席にお座りの方、お願いします。

○F

10年間ここで活動させていただいて初めてこちらに参加させていただきました。今回コロナのことがあったので、その対策についてお尋ねしたいことがありまして、参加させていただきました。大まかに4点質問させていただきます。

1点目は、新型コロナウイルス感染症対策として具体的にどういった消毒方法をしているかを教えていただきたいです。

2点目が、つい最近、新型コロナウイルスが空気感染するおそれがあるということが出てきて、WHOも起こる可能性は排除できないという返答をしました。結局、ウイルスが空気感染する可能性がある。その予防策としては換気設備の高機能フィルターや殺菌装置の搭載だということを専門家が具体的に言っています。

それで、施設が再開することになったときに、この窓は開けられないのかしらと真っ先に思った

のです。そうすると、こちらと向こうで換気できるので安心かなと思ったのですが、安全性のことでできないのですよね。一部、上だけでも良いから換気ができる窓、安全性も担保でき、なおかつ一部窓を開けるようなことはしてもらえないかということ。

それから、私たちは音楽練習室を主に使っているのですが、あそこは密室になりますので、紫外線殺菌装置のようなものを設置していただくことができないかということ。これが2点目です。

3点目が、音楽練習室が1、2、3、4とあって、1、2は15名定員、3、4が10名定員となっています。私たちは15名で利用しているのですが、今回、定員が半分になりました。そうすると、第1音楽室と第2音楽室のパーティションを取って一つの部屋にして初めて自分たちが使えることとなります。ところが、ここを取るために第1と第2を別々に抽選する、第1と第2合同なのを抽選するという3組あるのです。そうすると、誰かが第1を取ってしまうと、もう私たちは使えなくなってしまいます。例えば、第3、第4は10名ずつですから、5名以下の団体の方は第3、第4を使うようにするという形の抽選方法を考えていただけないかと思いました。

4点目が、エレベーターのソーシャルディスタンスの配慮ができていないように思いました。エレベーターは15名定員となっているのですが、この間、私たちが使ったときに、ばばっと数名が入ってこられたのです。ソーシャルディスタンスがあるため多いですと言ったら、12時に鍵を返さなければ駄目だからといって、ばっと乗ってこられてしまったのです。そういうこともあるので、あそこのエレベーターに関しても定員は何名ということをきちっとうたっていただきたいです。

○木村企画課長

ありがとうございます。

○大割企画課長補佐

1点目の消毒方法ですが、基本は利用者の皆様に手洗いや、入り口等に置いてある手指消毒していただくこと。それから、ご利用後に全てとはいきませんが、机や椅子、ドアノブなど人が触るであろうところはクロスと消毒液を用いて清掃しています。

○F

もしもよろしければ、私たちは必ず受付に行って鍵をもらいますので、そのときに消毒液とクロスをいただけると、私たち自身で不安なところを消毒できるかなと。利用後に返却するなどにしてもらえると、二重に安心できるかなと思います。

○大割企画課長補佐

例えば、お客様が主に音楽練習室をご利用ということであれば、音楽練習室の場合は、スタッフが始めにお伺いすると思いますが、そこでご用意するようになっています。

○F

音楽練習室だけでなく研修室も使いますし、リハーサル室も使います。今回定員が少なくなったのと音楽練習室が取れないこともあり、色々なところを使っているのです。ですから、そういうことも含めて各部屋、少し神経質な方もいますので、そういったものを貸し出していただけるとありがたいです。

○大割企画課長補佐

会議室系施設全体については、数に限りがあるので必ずとは言えませんが、貸し出しができるようにしたいと思います。

○F

厳密なことを言うと、拭き方もこうやってはいけない、こうやらなければいけないということもテレビで言っています。やはり神経質な人からすると不安があるので、なるべく不安を解消できるような形となると、自分たちでやるのが一番手っ取り早いかなと思いますので、そういう貸出しをしていただけるとありがたいと思います。

○大割企画課長補佐

2点目の換気についてですが、ここの施設に窓がないのは、恐らくエネルギー効率のためだと思います。窓があると熱が逃げてしまうので、空調の効きがよくないということで窓を設置しない。恐らく高層の建物は大体そうになっていますが、それが今の状況になっているので、良いか悪いかは別として、そういう認識です。

窓を開けたほうが換気量が多いのは、そのとおりだと思います。ただ、おおむね安全な水準で施設が動いている限りは、1時間当たり30立方メートル以上の換気を空調設備で確実に行っていきます。

どうしてもご心配であれば、例えば扉を開けてご利用いただくなど……

○F

声を出すものですから、扉を開けないようにという言い方もされましたし、そこら辺が少し不安です。

○大割企画課長補佐

通常であればそうなのですが、今の状況であれば開けていただいても構いません。

それから、音楽練習室で例えば紫外線殺菌ということですが、私、不勉強で、それがどういうものなのか分からないので、確認して、どういう方法ができるのかということを検討させていただきたいと思います。

それから、音楽練習室の抽選方法ですが、窓口とかお電話で抽選のお申し込みをされる方については、今おっしゃったようにご案内するのも不可能ではないと思うのですが、インターネットでお

申し込みになる方もいらっしゃいますので、少人数の場合は3、4というご案内はなるべくさせていただきたいと思いますが、システムのそれを防ぐのは、現状では難しいです。ただ、口頭レベルでそのようなご案内はさせていただきたいと思います。

○F

私たちは、利用者の人数をパソコンでも必ず入力します。入力の際に、はじくことができるのかなど。

○大割企画課長補佐

もちろん不可能ではありませんが、現状、今すぐというのは難しいです。

○F

改善というところで、そこを少し考慮していただければと思います。

○大割企画課長補佐

それから、エレベーターの定員ですが、機械的には15人ですが、今の状況では5人程度でお願いしています。各階にそういう表示があるわけではないので、各階に表示をさせていただきたいと思います。

○F

ぜひよろしくをお願いします。

○木村企画課長

ありがとうございます。

では、一通り皆様からご意見を伺いました。本来でしたら、時間が許す限り皆様からご意見をいただくところなのですが、最初に申しましたとおり、本日は新型コロナウイルス感染症対策ということで、この場はここまでとさせていただきたいと思います。

文化生涯学習課へのご意見の場合は文化生涯学習課に、また財団の場合は7階また1階の受付、それからメールなどでも随時受け付けております。我々も対応させていただきますので、ご活用いただければと思います。

それでは、本日は多岐にわたり貴重なご意見を頂戴しました。今後のたづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の運営に活かしてまいりたいと思います。

なお、次回の利用者懇談会は、本年11月頃の実施を予定しております。また改めましてホームページ、広報誌「ぱれっと」などでお知らせします。ただ、これも新型コロナウイルスの状況によっては、時期また内容について検討させていただくこともあろうかと思っておりますので、ご承知おきください。

それでは、これもちまして、令和2年度第1回利用者懇談会を閉会とさせていただきます。本

日はありがとうございました。

——了——